

フードバンク福岡から市事業に参加する中学生に食料品を支援

「NPO法人フードバンク福岡」から、古賀市隣保館「ひだまり館」で実施している事業*の参加者（中学生）に、栄養補助食品や米などの食料品の支援が1月16日から始まりました。この支援を通じて、フードバンク福岡が取り組む食品ロスや食のセーフティネットに対する子どもたちの認識を高め、食の大切さを伝えるとともに、生き抜く力を養ってもらうことを期待しています。

※スタンドアローン支援事業

対象：市内中学生

実施日：火・木曜日の夕方

参加費：無料

目的：市内の中学生を対象に、居場所づくりや多様な講師陣による学習支援と社会体験学習等の支援を行うもの。

登録者数：32人（実参加者数はおよそ20人前後）

■食料品の提供について

日時：1月16日（月）～毎週月曜日

場所：NPO法人フードバンク福岡下原ベース
（福岡市東区下原4丁目2-1）

提供物資：栄養補助食品（野菜クラッカーや
粉末麦芽飲料）、米など



■取組の経緯と期待される効果

隣保館は市内の中学生を対象に、居場所づくりや家庭学習支援を毎週火・木曜実施しています。従来から部活動帰りの子どもたちが、空腹のまま勉強に取り組んでいる課題があり、今年度市内飲食店からおにぎりの支援を受けているものの、火曜日は食事の手配ができていません。

そこで12月上旬にNPO法人フードバンク福岡に相談したところ、本市の事業がフードバンクの事業の趣旨に合致していることから、今回の食料品の提供につながりました。

子どもたちに食事を提供することで、安心して学習に専念し、孤食の環境下にある子どもも、家庭でも安心して食事ができるようになることを期待しています。

【問い合わせ先】

古賀市役所 隣保館「ひだまり館」

担当：永延 電話：092-943-4222